

アンケート結果からみた和歌山県工業技術センターの利用状況

・過去2年、5回以上の利用企業284社を対象
 ・回答企業181社
 ・回答率64%

利用した事業

・依頼試験、技術相談、設備機器利用の利用が多く、特に依頼試験では80%以上の企業が利用
 ・共同研究においても20%近い企業が利用

利用による成果

・利用した全ての事業について、90%以上の企業が、「十分得られた」または「ある程度得られた」と回答

利用目的

・品質の証明(成績書の取得)での利用が最も多く、61.9%
 ・製品の評価、製品の改良・開発、トラブルの原因究明、製造技術の改良・開発での利用も多い

目的の達成度

・殆どの利用目的で、「十分達成できた」、または「ある程度達成できた」を合わせた回答は95%以上

金額メリット

・センター利用により1社あたり200万円のメリット(この金額に間接メリット、波及効果が含まれているかは不明)

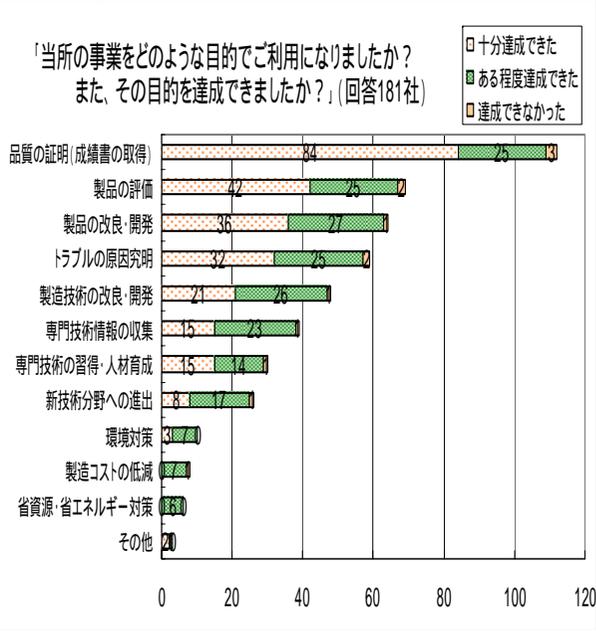
今後の利用など

・86%の企業がセンターの必要性を認めている
 ・97%の企業が今後もセンターを利用したい
 ・利用希望事業として依頼試験、技術相談、機器貸付が多いが、共同研究が18%、受託研究も8%あった

センターへの要望

・事務手続きや手数料の改善
 ・試験分析・評価・測定可能な項目の増加と速やかな結果の提出
 ・設備機器の充実
 ・企業と連携した研究の推進
 ・情報の提供(セミナーの開催などを含む)
 ・コーディネート機能の強化

詳細(グラフ)



更なる努力により

企業が
 ・技術的問題で困ったとき
 ・新製品・新技術を開発したいとき
 ・製品や製造工程を改善したいとき
 ・新分野進出を望むとき

一番最初に相談する機関が工業技術センターとなることを目指す